

日本語会話パートナーおすすめします！

理学部物理学科 2年 熊丸一平
日本語会話パートナー (2017-2019)

はじめに

このページを見ている皆さんの中で会話パートナーに応募しようか迷っている方がいたら、今すぐ応募しましょう。ゆくゆくは留学だ！とか、英語が苦手なチューターは荷が重いなとか、留学したいとまでは思わないけど留学生と関わりたいな、と思っっている方には特におすすめします。

日本語会話パートナーに応募したきっかけ

僕がまず興味を持ったのは実はチューターの方で、日本語会話パートナーに関しては存在も知りませんでした。しかし、英語にとっても不安があった僕は日本語でも留学生と関わられる制度はないかな、と探したところ会話パートナーを見つけました。

活動を通して

上に書いたように僕は留学生と関わる第一歩として会話パートナーの活動を始め、後々はチューターの活動に移行しようと考えていました。しかし、今、僕はチューターの活動と並行して三回目の会話パートナーの活動をしています。会話パートナーを通して得るものがたくさんあるなと思ったからです。まずは留学生の友達がたくさん増えました。会話パートナーの活動は基本的にパートナーの留学生と日本語で会話することですが、サークルに誘ってみたり、お出かけしたり、一緒にスポーツしたりと活動の幅はいくらでも広げることができます。そんなことをしているうちにパートナーの友達とも知り合っていく、留学生の友達が増えていきました。写真はパートナーだった留学生が自分の国に帰ってしまうお別れの日に撮ったものです。お別れはとても悲しかったですが彼女に会えて友達になれたのは会話パートナーの活動のおかげです。

また、英語、日本語ともに再確認ができます。留学生の多くは日本語の授業を取っていて日本語の質問をされることがあります。普段何も考えず当たり前に使っている日本語もなぜこのように言いまわすのか、なぜこの状況ではこの単語はつかえないのか、など改めて考える機会になりとても面白いです。また、留学生とLINEなどのメッセージでやり取りをすることで自分の日本語を見つめなおす機会にもなります。留学生に対しては主語などの省略は極力しないようにしたり、スラングは使わないようにしたりと気を付けるからです。逆にこちらの英語の課題などを手伝ってもらったときなどに、高校で習った英語表現に対して、「こんな固い表現使わないよ」などといったリアルな話を聞くこともできます。



最後に

はじめに言ったことの繰り返しになりますがこのページを見ている皆さんに会話パートナーを強くおすすめします。会話パートナーに参加して得るものは大きいです。活動量も期間中平均して週に一回一時間と勉強時間を圧迫させることもありません。留学や海外に向けた第一歩として、日本語を振り返る機会として会話パートナーに応募してみたいかがでしょうか。